

アタック水中モルタル 標準施工要領書

「アタック水中珪砂」の標準施工要領について

★「アタック水中珪砂」は、常時水中にあるコンクリート構造物の底版部分での施工を対象としています。
(気中構造物及び将来、気中に出ることが予測される箇所への施工は、対象外となります。)

● 「アタック水中珪砂」の作業手順

(1) コンクリート躯体の下地処理

施工箇所の脆弱部及び藻・苔類は、エアガン、高圧水及び水中ホース等で除去し清掃して下さい。(必ず、確認して下さい。)

(2) 攪拌

【標準配合 アタック水中珪砂/水=20kg/3.6kg】

1) ハンドミキサを使用する場合

- ①水（上水道水）の計量。
- ②ペール缶に計量した水のうち9割程度入れ、アタック水中珪砂を約 2/3 投入して攪拌して下さい。
- ③全体が混合された状態で、アタック水中珪砂の残り約 1/3 を投入するとスムーズに攪拌することが出来ます。
- ④全体が混合された後、残りの水により適度な作業粘度に調整して下さい。

2) モルタルミキサを使用する場合（2袋を一度に練り混ぜる場合）

- ①水を計量。（1回練り分の水を計量）
- ②アタック水中珪砂を1袋投入し、約 1.5 袋分の水を徐々に投入して下さい。
- ③アタック水中珪砂の2袋目を投入し、残りの水を投入して下さい。
- ④全体が混合された後、残りの水により粘度調整して下さい。

(3) 塗り付け

水中でのアタック水中珪砂の塗り付けは、原則として静水中(流速 5cm/s 程度以下)で行って下さい。

やむを得ず流水中で施工する場合には、アタック水中珪砂が流出しないように型枠、保護シート等で防護して下さい。

【塗り付け方法】

- ①アタック水中珪砂がコンクリートの凹部に詰まるように手作業及び金ごてにて静かに圧着させて下さい。
(コンクリートの凹部に圧着できていない場合は、モルタルの浮き・フクレが発生します。)
- ②凹部に圧着させた後、直ちに所定の厚さになるようにアタック水中珪砂を塗り付けて下さい。この時に、アタック水中珪砂をかきまわさないように施工して下さい。
(一度に厚く塗り付けた場合は、凹部に十分に圧着できず、モルタルの浮き・ふくれが発生し易くなります。)
- ③硬化後にアタック水中珪砂を塗り重ねる場合は、予めくし目を入れ、再度①・②の工程を行って下さい。(硬化後に塗り重ねる場合は、表面を十分に清掃して下さい)
- ④表面仕上げは、コテにより押さえながら仕上げして下さい。
(金ごてで押えすぎ及び均しすぎないように注意して下さい。モルタルの浮き・ふくれが発生する原因となります。)

注1)施工箇所については、底版部とし施工箇所が垂直面の場合は、型枠設置によるアタック水中珪砂外施工をお勧めします。

注2)材料特性上、気中での施工の場合、乾燥収縮ひび割れを生じますので、水中での施工を行なってください。

注3)水中落下をさせれば品質が低下する傾向にあり、出来る限り水中落下させないように施工して下さい。

注4)製品の保管は、直射日光をさけ、5℃以上 35℃以下の室内として下さい。